

# 人権まちづくり新聞



第18号  
編集発行  
枚方人権  
まちづくり協会

## 人権週間事業

# 優しい音色と笑顔が観衆を魅了

## あすかさんのピアノ演奏と母・恭子さんの講演



昨年12月8日、メセナひらかた会館で、枚方人権まちづくり協会と枚方市等が共催する人権週間事業「野田あすかさんのピアノのミニ演奏会と母・恭子さんの講演会」が行われ、市民二六〇人の参加がありました。伏見枚方市長の挨拶に続き、野田恭子さんが講演。子どもの頃から人のコミュニ

ニケーションに悩み、いじめを受けたり、自傷行為を繰り返した中高時代。ストレスからピアノを禁じられたこともあり、中退した大学時代。あすかさんの「ありのまま」を認めてくれたピアノの先生との出会い。そして、発達障害だと診断され、両親は「将来のことも考え、ピアノを仕事にさせよう」と思ったなどと語られ、「家族として支えていきたい」と結ばれました。その後、あすかさんのピアノ演奏に移り、優しいピアノの音と明るい笑顔、自分の障がいに向き合うあすかさんの姿勢に参加者は魅了されました。と同時に、障がいや「頑張り」の有無に関わらず、誰もが当たり



## ハラール食品って何ぞ存じですか？

現在、枚方市には4千人を超える外国人が暮らし、当然イスラム教徒の方もお

られます。イスラム教徒には豚肉やアルコール類の飲食が禁じられるなど、生活全般に戒律があります。そして、イスラム教徒が食べてよいとされている食べ物や戒律に基づいて処理された食材や香辛料は「ハラール食品」と呼ばれています。最近、市内のスーパリーなどで、イスラムの教えに基づ

いて「食べていい」という「ハラール認証」を得た食品が売られるようになりました（写真は「ハラール認証」のついた野菜フイヨン）。枚方市が様々な文化を持つ人々にとって暮らしやすい街になることが望まれます。また、「ハラール食品」を健康食品として購入する日本人も出てきています。まさしく異なる文化が私たちの生活を豊かにしてくれる面もあるのです。

前に生きていける社会であってほしいと感じさせられた2時間でした。また、会場のロビーでは「拉致問題を考える」パネル展が行われました。

## 枚方人権まちづくり協会の相談事業

- |  |  |
|--|--|
| <p>〈人権まちづくり協会〉<br/>サンプラザ1号館5F<br/>TEL 072-844-8788<br/>[人権なんでも相談]<br/>月～金 9:00 - 17:30</p> <p>[地域就労支援相談]※<br/>月～水・金 9:00-17:30</p> <p>[進路選択支援相談]※<br/>火13:00-17:00<br/>18:00-20:00</p> <p>[福祉なんでも相談]<br/>月～金 9:00-17:30<br/>専用電話072-844-8866</p> | <p>〈男女共生フロア・ウィル〉<br/>サンプラザ3号館4F<br/>TEL 072-843-5636</p> <p>■女性のための相談<br/>[電話相談]<br/>火15:00-20:00<br/>水13:00-17:00<br/>木10:00-15:00<br/>専用電話072-843-7860</p> <p>[面接相談]※<br/>水13:00-16:10<br/>木14:50-19:30<br/>金10:00-15:00</p> <p>[法律相談]※<br/>第1土・第2金13:20-15:50<br/>第3木17:20-19:50<br/>第4火10:20-12:50</p> <p>■男性のための電話相談<br/>第1土14:00-17:00<br/>第4木18:00-20:00<br/>専用電話072-843-5730</p> |
|--|--|

※の相談は予約が必ず必要です。それぞれに電話で予約してください。



©関西テレビ放送

映画は大阪市立大空小学校の日々に密着したドキュメンタリーで、若い教員が児童の指導について苦悩する姿や、校長も含めた周りの先生の支え、そしてその児童の変化等をありのままに映していました。

# 「みんなの学校」上映会 みんなが笑顔になる公立小学校の挑戦

枚方人権まちづくり協会の自主事業として、一月二十五日にメセナひらかた会館にて「みんなの学校」を上映し、約二百人の参加がありました。

大空小学校は、映画のタイトルにあるように「みんながつくるみんなの学校」を合言葉にしています。同じ合言葉を掲げている学校は他にもたくさんありますが、大空小学校が映画になる理由が他にあるのです。

大空小学校には支援を必要とする児童も通学していますが、支援学級はなく、全員普通学級で学んでいます。すべての子どもが安心して学級で過ごせるために、地域のボランティアや保護者、教職員など周りの大人が全児童を見守っています。学校に通いづらかった児童も自分の気持ちをコントロールするのが苦手だった児童も、自分と向き合い、失敗しながら周りに助けられながら成長していきます。周りの児童もその思いを受けて、関わり方に変化が見られるようになり、一層み

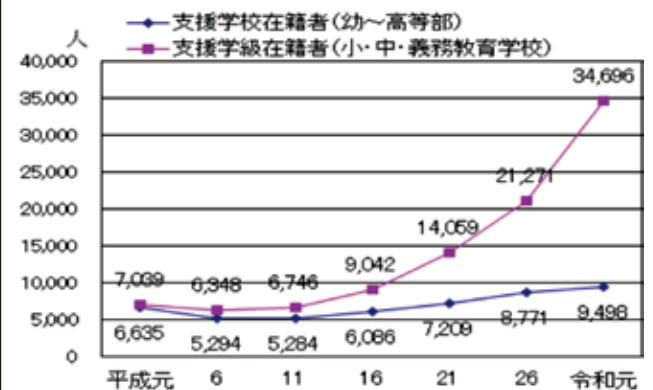
んなが過ごしやすい学校になっていきます。見終わって、「人間って素敵だなあ」と感じました。  
観覧された方からも、わが子とどう接するのか、周りの人とどのように関わってあげばいいのか考えさせられたという感想をいただきました。

## インクルーシブ教育

大空小学校で行われているような教育はインクルーシブ教育と呼ばれています。2014年に日本において批准された「障害者の権利に関する条約」の中にインクルーシブ（政府訳；包容する）教育に関する条項が含まれています。この条約の批准を受けて、国内法が整備され、教育現場においてもインクルーシブ教育という言葉は一般的になりました。

しかし、インクルーシブ教育と言っても、その解釈は大きく2つに分かれています。ひとつは支援学校・支援学級を設けずに、普通学校・普通学級にすべての子どもを包摂するというもので、フル・インクルーシブ教育と呼ばれています。もうひとつは、支援教育と普通教育を併存させ、個別の教育的ニーズに応えながら、「交流学习」「共同学習」の機会を拡大するというもので、文部科学省は現在、この立場をとっています。

こういった状況のもと、大阪府においても右図に見られように、近年、支援学級在籍者数が急増しています。このような中で、大空小学校のフル・インクルーシブ教育の取り組みは稀有で、挑戦的な取り組みと言えます。



## 会員随時募集

枚方市を市民一人ひとりの人権が大切にされるまちへ。(年会費1口 1000円)

NPO法人 枚方人権まちづくり協会

TEL:072-844-8788 FAX:072-844-8799